

対象国の条件：母子保健分野のプログラム・プロジェクトと関連のある国が望ましい。

研修コース番号：J1804244

案件番号：1884439

主分野課題：保健医療/母子保健・リプロダクティブヘルス

副分野課題：

使用言語：英語

案件概要

MDG5（妊産婦の健康改善）は、MDGsの7目標の中でも最も達成が遅れているといわれており、続くSDGsでも重要課題のひとつとなる見込みである。本コースは、国際的な潮流とともに、思春期、妊娠、出産、乳幼児期の母子を包括的に扱う継続ケアの重要性を日本の経験を踏まえて伝達し、自国の現状に照合して特に地域において適用できる具体的方策を検討するものである。

目標／成果	対象組織／人材	
<p>【案件目標】 自国の、地域における妊産婦の健康改善を目指した「継続ケア」を強化する。</p> <p>【成果】 1. 自国の地域における「妊産婦の健康改善」に関する課題と現状が整理される。 2. 妊産婦の健康改善のため「継続ケア」の在り方について、理解を深める。 (1) 質の高いケアの提供 (2) 地域と保健サービスをつなぐための経験と方策 3. 自国の地域の取組みを踏まえた上での「活動計画（案）」を作成する。</p>	<p>【対象組織】 1. 中央または地方政府の行政機関 2. 上記1と協働するNGO</p> <p>【対象人材】 1. 母子保健プログラムの企画・管理を担当する職員 2. 職務経験：3年以上 3. 十分な英語能力を有すること</p>	
<p>内 容</p> <p>1. インセプションレポートの作成・討議（自国の「妊産婦の健康改善」に関する現状・課題分析・各国比較）</p> <p>2. (1) 日本の母子保健サービスの現状紹介（法・制度、組織、各種保健サービス）</p> <p>2. (2) 日本の母子保健サービスの変遷（特に地域における保健サービスと住民とをつなぐための活動）</p> <p>3. 自国の地域の取組みを踏まえた上での「活動計画（案）」の作成</p>	<p>本邦研修期間</p>	<p>2018/5/20～2018/6/9</p>
	<p>担当課題部</p>	<p>人間開発部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>JICA東京（人間開発）</p>
	<p>関係省庁</p>	<p>厚生労働省</p>
	<p>実施年度</p>	<p>2016～2018</p>
<p>主要協力機関</p>	<p>公益財団法人 ジョイセフ</p>	
<p>特記事項 及び ホームページ</p>	<p>ジョイセフ http://www.joicfp.or.jp/jp/</p>	